



国際ロータリー第2650地区 2023-24年度 RYLA受講生

1 班



塩見 郁弥 (福知山西南RC) 笠村 瑠 (大津RC)
吉田 真太朗 (京都北RC) 松浦 奈々恵 (福井北RC)
渡海 美里 (京都南RC) 豊田 修平 (橿原RC)
飯沼 憂樹 (京都洛西RC) 樟 美里 (大和郡山RC)

2 班



福島 快利 (京都RC) 松本 幸也 (彦根南RC)
上野 智大 (京都モーニングRC) 中村 陸 (大津中央RC)
能登原 彩花 (京都洛東RC) 鷺田 璃果 (武生RC)
藤津 幹大 (京都朱雀RC) 東 孝幸 (あすかRC)

3 班



三宅 正太 (京都東山RC) 中西 薫 (大津RC)
川崎 大吾 (京都モーニングRC) 杉浦 杏里紗 (福井あじさいRC)
佐藤 正嶺 (京都洛西RC) 高橋 海 (奈良RC)
奥 尚輝 (東近江RC) 孫 宇形 (奈良西RC)

4 班



池田 大 (京都イブニングRC) 西 壮鳳 (湖南RC)
川本 健太 (京都西RC) 金田 和真 (大津東RC)
吉本 翔 (宮津RC) 井上 美夏 (福井あじさいRC)
佐田 七海 (宇治RC) 志茂 諒平 (奈良大宮RC)

5 班



中川 裕介 (京都イブニングRC) 片山 卓弥 (長浜RC)
江畑 雅俊 (京都紫野RC) 矢尻 佳澄 (八日市南RC)
宮本 蓮彩 (宇治鳳凰RC) 宮下 知昂 (福井RC)
中村 圭伸 (びわ湖八幡RC) 原田 大地 (やまとまほろばRC)

6 班



谷村 浩人 (京都城陽RC) 田沢 咲英 (守山RC)
麥 端和 (京都洛中RC) 吉田 惺 (長浜東RC)
八木 万衣香 (京都洛西RC) 土谷 拓夢 (福井西RC)
井上 翔太 (湖南RC) 辰巳 純真 (大和高田RC)

7 班



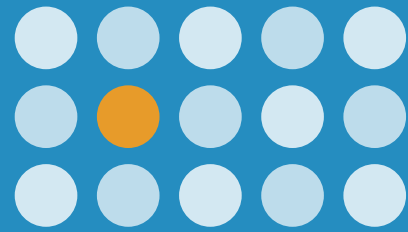
稲村 力也 (京都桂川RC) 村上 葵 (大津RC)
砂辺 来貴 (京都朱雀RC) 笠原 慎平 (敦賀RC)
尾道 祐太 (彦根RC) 大野 瑞季 (奈良RC)
高木 駿次 (近江八幡RC) 谷廣 望 (大和高田RC)

2023-24年度 地区青少年育成委員会

- 委員長 田中 雅弘 (京都洛西RC)
- 副委員長 伴戸 恒夫 (京都紫野RC)
- 委員
朝廣 佳子 (奈良RC) 平松 隆一 (湖南RC)
諸 美弥子 (京都田辺RC) 向 真史 (八日市南RC)
村井 孝次 (京都南RC) 大島 友治 (福井あじさいRC)
高木 政明 (京都洛西RC) 竹山 良三 (福井北RC)
辻本 和久 (奈良大宮RC) 山内 喜代美 (福井東RC)
吉田 直史 (京都洛東RC)
●次年度委員
足達 保樹 (奈良RC) 河合 洋典 (武生RC)
樟 颯美 (大和郡山RC) 村上 武史 (京都紫野RC)
寺田 信弘 (奈良西RC)



京都 花園会館



国際ロータリー第2650地区

2023-24年度 RYLA ライラ 報告書

ロータリー青少年指導者養成プログラム

開催 2024年5月10日～12日 宿泊 京都 花園会館

テーマ 「人は人のために」

国際ロータリー第2650地区 2023-24年度のRYLAを終えて

2024年5月10日金曜日～12日曜日にかけて、京都の花園会館で2泊3日のRYLAを開催いたしました。我が地区のRYLAは2泊3日のセミナーが基本で、今年で3年目の京都開催となりました。京都開催でのテーマは、「人は人のために」といたしました。今の自分があるのは、支えて頂いた皆さんのお陰、今がある事、今の立場に感謝し、これからは後輩やまわりの人のため、地域のためになるような人生を歩んでもらいたいと思い、このテーマにいたしました。

初日の午前11時から、尾賀バストガバナーをはじめ、三好幹事長、多くの地区役員の方、カウンセラーのロータリアンにもご出席賜り56名の受講生の緊張した表情の中、開講式が始まりました。受講生の皆さんは、各クラブ様からある程度の説明は聞いて来ておられるとは思いますが、「何で私が？」「何の集まり？」と、初対面の人たちばかりの集まりに、不安要素いっぱいの中、かなりの緊張感でのスタートとなりました。

その後、吉川青少年奉仕委員より「ロータリーとは、ロータリーの活動」について、青少年奉仕活動の大切さをお話して頂きました。各班長を決めるのに手間取った班もありましたが、昼食時間とともに少しずつ緊張感がほぐれているように見えました。

第一講は、株式会社ヴォイスコレクション代表取締役 菊岡かつら先生の「声のチカラ・言葉のチカラ」をテーマに、第二講は京都外国語大学教授 ジェフ・バーグランド先生の「世界から見たNIPPON、日本から見た世界」と題してのご講演を頂きました。夕食後は、各講演についてそれぞれの思いや受け止め方など最終日の発表に向け、各班とも夜遅くまで班ミーティングがおこなわれていました。

2日目は、早朝よりラジオ体操、妙心寺での座禅体験、朝食のあと、第三講からは、馬場バストガバナーにもご参加をいただき、日本人初的女子プロラクロス選手 山田幸代先生の「チャレンジこそ人生～道なき道を切り開いて～」と題してご講演を頂きました。

素晴らしいお天気にも恵まれた中、バスにて亀岡へ移動し、保津川下り体験、大河内山荘の素晴らしい庭園の見学、小倉山竹林の散策など、班行動でみんなと友好を深める事が出来た楽しいエクスカージョンとなりました。

花園会館へ帰り、第四講は、RYLA学友でもあり、株式会社WALLESS代表取締役 山内喜代美先生の「RYLAから学んだリーダーシップ～すべては夢を描くことから始まった～」と題したテーマで、24年前にRYLAを受講して今の自分があると、RYLA受講生に非常にインパクトのある講演をして頂きました。

ローターアクトや、地区学友会「ロータリーフェローズ2650」の説明の後、夕食をいただき、最後の班ミーティング、最終日の班発表に向けてみんな色んな意見を出し合う充実した会議をしてくれていました。

最終日も朝からラジオ体操、朝食を済ませ、各班が2日間のプログラム、講話について、それぞれの捉え方や考え方、今後の自分たちがどう活かしていくかなど、各班とも個性にあふれた発表会のあと、三日間の感想文を提出いただきました。最終日の閉講式には、日曜日の早朝にも関わらず、中野ガバナー、小崎ガバナーノミニー、三好幹事長にもご出席頂き、中野ガバナーより、代表受講生の宮下君に、修了証、学友バッジの授与をして頂きました。また、今年度青少年担当諮問委員でもある、尾賀バストガバナーには、今までに例を見ない、二泊三日全てのプログラムにご同行頂きました。開会のご挨拶、ご講評までお願いいたしまして、本当にありがとうございました。委員会一同、感謝の念に堪えません。

その後、昼食、記念撮影にて全てのプログラムが終了となり、ほとんどの受講生がお礼と最高の笑顔で帰って行ってくれました。

私がコロナ禍の中、委員長を拝命して4年、大きな問題もなく、京都でのRYLAを3年間無事に終える事が出来ました。伴戸副委員長を始め、3年間無力的な私を支えて下さいました委員会の皆様、今年お手伝い頂きました次年度の委員の皆様に心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。次年度は奈良県での開催となりますが、青少年奉仕活動をできる事に感謝し、辻本委員長、竹山、諸、両副委員長を盛り上げていきたいと思います。

中野ガバナー、尾賀バストガバナーはじめ、花園会館のスタッフの皆様、ご参加頂きました全ての皆様、本当にありがとうございました。

地区青少年育成委員会 委員長 田中 雅弘